

経営比較分析表（令和3年度決算）

神奈川県横浜市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I未訓方	救臨が感災地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,755,793	79,612	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

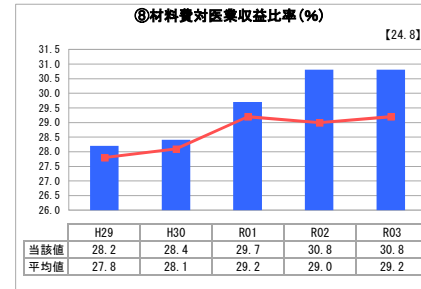
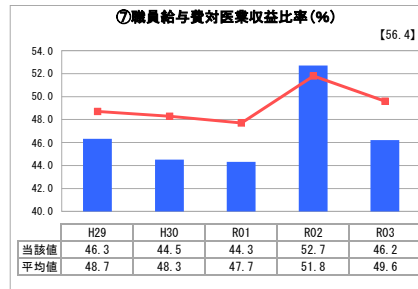
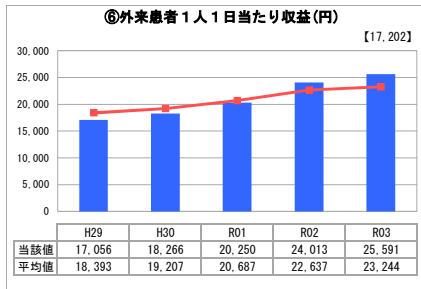
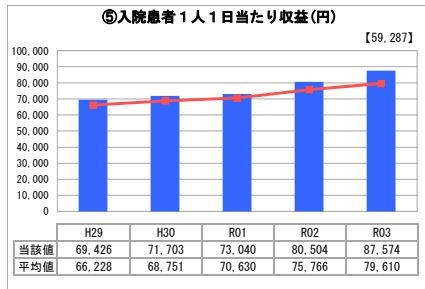
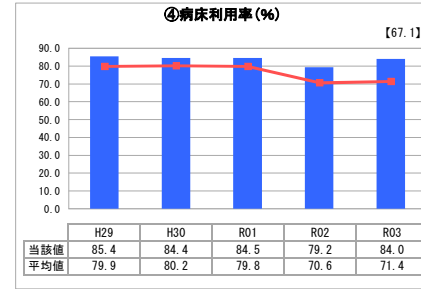
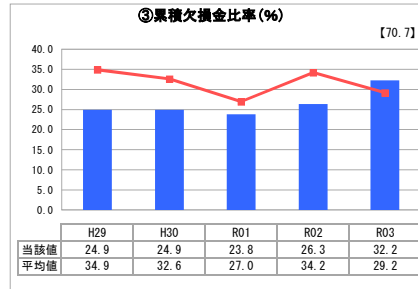
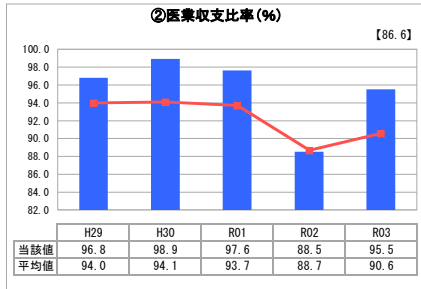
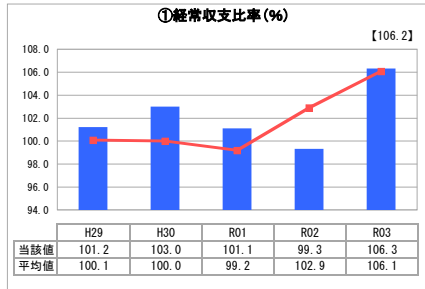
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
624	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	26	650
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
624	-	624

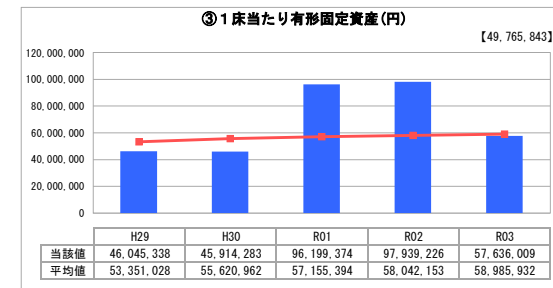
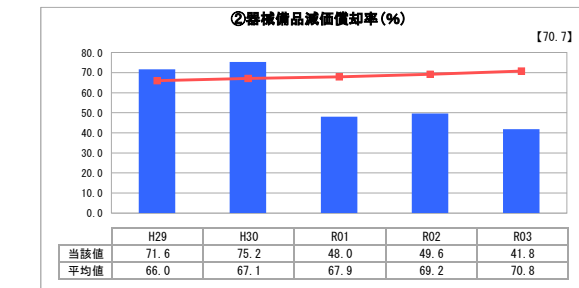
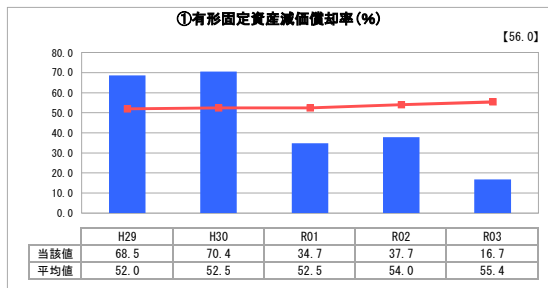
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

高度急性期を中心とした総合病院であり、「がん」「救急」「周産期」「感染症」「災害医療」等、地域から必要とされる政策的医療等に積極的に取り組み、地域の基幹病院としての役割を果たします。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度は、新病院で整備した施設・設備を最大限活用し、高度急性期医療の提供と新型コロナウイルス感染症患者の積極的な受入れを両立しました。その結果、入院・外来収益の増収と新型コロナウイルス感染症関連補助金等により経常黒字となりました。提供する医療の高度化などに伴い、診療単価が上昇していますが、併せて材料費比率も高い水準となっています。このため、引き続き一層の医療効率化や経費の適正化を図るとともに、安全で良質な高度急性期医療を提供することで、将来に渡って安定した経営基盤を確立していきます。

2. 老朽化の状況について

令和2年5月に新病院を開院し、新しい施設設備となっています。今後、適切な修繕計画に基づき、設備の更新等を実施していきます。

全体総括

今後も一層の医療機能の充実を進めることで新入院患者を確保し、収益力を向上させるほか、材料費等の経費の適正化を図ることなどにより、持続可能な経営を確保します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。